



●Answer

沖繩市・コザ山 仁王院 球陽寺 前任職
帰依 龍照 (きえ りゅうしょう)

Q

「コロナがあるから、今年のお盆はやめようか？」最近、母とそんな相談をしています。うちは本家なので、嫁いでいったおばさんたちから、ものすごいクレームが入ることが想像されます。やっぱり、お盆とか年中行事をやらないと崇られますか？
(石垣市・Kさん・40代・女性)

A

うーん、ウヤファーフジの方々を大切にする沖縄ですから、新型コロナウイルスが原因で祟るようなご先祖様はいないと思うのですが(汗)。新型コロナウイルスと共存する時代になり、多くの沖縄県民のみなさんが、Kさんと同じご質問をお持ちだと思います。

私がお参りさせていただく現場では、それぞれが政府・行政などのアドバイスを守りつつ、「呼ぶ方も、呼ばれる方も、お互いがお互いを気づかいながら」家族・親族のみの小さな形式に変化させて、儀式・法要の当日をキャンセルすることなくお勤めされているのが現状のようです。

儀式・法要を期日どおり行う場合と、心苦しいことではありますが、後日に日延べする場合は沖縄のしきたりを抜粋してご案内いたします。

儀式・法要を行う場合

● 事前にお墓にウンチケ―

のお参りをされるときは、可能なかぎり、少人数でお参りしましょう。奇数を重んじる場合、1名・3名程度が望ましいと思います。

● お参りくださる方々には、事前にもマスクの着用をご依頼するほか、お互いの間隔を空け、玄関先には消毒液などを準備しましょう。6月以降の暑い時期ではありますが、換気を十分に行う配慮をお願いいたします。

● クーラーをつける場合、ヒラウコウなどの煙が気になることもあると思いますので、場合によっては、火をつけない焼香のカラウコウ(空御香)を行い、終了する夜に、喪主または家族によって、そのヒラウコウをまとめて焼香する方法もあります。

● カビアンジのウチカビを炙るのは、屋内のお仏壇の正面に向かって左側が望ましいのですが、屋外のウジヨウ(門)・ナカジン(ヒンブン)・玄関周辺という方法もありますので、応用していただければと思います。

● 会葬御礼・お茶・チャワキ(茶脇・茶菓子など)・御膳料理・ウサンデーなどは、その場で召し上がらなくてもいいよう、事前にお持ち帰りのご準備をしておきましょう。

● 午後に入れば、沖縄のしきたりの理論上、ウータイのお見送りは可能となります。遅

ければ遅い方がよいという考え方もありますが、このような時節は短時間で終了する旨、先輩方にもご理解いただけるよう、ご案内をお願いいたします。

● 会葬者としてお参りされる方々には、アジクワイ焼香などの沖縄のしきたりを応用して、家族・親族の数件分をまとめて預かり、御仏前・御霊前などのご準備、ご焼香いただけますと、ご当方も安心されますので参考になさってください。

● 当日のウサギムンや儀式・法要の様子などは、写真や動画に収めて、お見えになることができない方々に、後日、ご覧いただけるよう配慮されたいと思います。

後日に日延べする場合

● 儀式・法要の当日、何月何日に日延べすることをト―

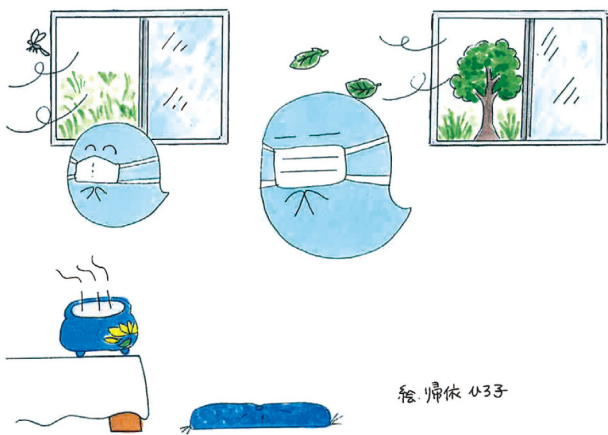
ト―メーやヒヌカシなどに報告し、代表焼香ではヒラウコウ・タヒラハン(15本)かタヒラ(12本)、またはサンボンウコウ(3本)で焼香を行います。煙が気になる方々には、ヤマトウウコウ(1本線香)も可能です。

● ご法事の場合、一周忌から二十五回忌まで、特に三回忌までの広義のミ―

サー(新仏)では、その当日のご供養が最善と判断されることが多いようです。ワカスコー(若焼香)なのに、やむを得ず日延べをされる場合には、今年に限ってですが、「ウンヂチ ヤイビン ヤーサイ(閏月でございます)」と、「閏月は日なし」の大義を会話の語尾にご報告される方法があるようですので、参考になさってください。

● 三十三回忌の場合、「ウヤファーフジに、ウマチカンテイー(お待ちかね)していただく」という、日延べを勧める沖縄のしきたりもありますので、この辺はご心配には及ばないかと思えます。

新型コロナウイルスと共存する時代を迎え、このような非常事態にも応用ができる、沖縄のしきたりの懐の深さと、先人のジンブンを尊さに感謝しつつ、1日も早い平生を願ってやみません。



絵 帰依 43子

帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年岡山県出身(52歳)／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学(宗教哲学)／コザ山 仁王院 球陽寺(京都創建・正嘉2<1258>年[鎌倉時代]、沖縄移転・昭和36<1961>年)・第18代住職／沖縄県宗教研究会・理事長／沖縄県内にて年間多数の住宅・墓の起工式(地鎮祭)を担当しつつ、行政・企業・学校における「琉球・沖縄のしきたり」に関する講演活動を行う。娘1人と息子3人の父親。

【質問をお寄せください】年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。